本院患者さんへの情報公開用文書

「IgG4 関連疾患における病期分類導入と個別化医療への推進」 についてのご説明

1. はじめに

IgG4 関連疾患は、涙腺・唾液腺・膵臓・腎臓・肺など、全身の臓器に炎症が起こり、臓器の機能障害をもたらす慢性の病気です。この数年で、病気の存在と診断法が確立されてきました。現在、本疾患の治療法については、確立されたものがなく、臓器障害があってもなくても同じような治療法が行われています。その効果の検証はこれからになりますが、本来は、臓器障害の程度に応じて、重症度が必要になり、それに合わせた治療が行われていくのが正しい姿かと思われます。そこで本研究では、IgG4 関連疾患に病期の考え方を導入し、その臨床的な特徴を見出し、それに応じた治療法を考えていくことを目的としています。

2. 研究対象

今までに IgG4 関連疾患と診断された方で、2016 年 10 月 1 日から 2017 年 5

月 31 日までに札幌医科大学附属病院免疫・リウマチ内科に受診歴のある患者さん、アレルギー性鼻炎のある患者さんを対象としています。予定症例数は 55 例です。

3. 研究内容

病期を設定するために、診断の際に行った顎下腺生検の組織と血液を使用して、臓器障害の有無、程度に応じて、グループ分けを行います。各々のグループの臨床的な特徴を見出し、既存のどの治療法が有用か考察します。

4. 患者さんの個人情報の管理

本研究では個人情報の漏洩を防ぐため、個人を特定できる情報を削除し、データのデジタル化、データファイルの暗号化などの厳格な対策をとっています。

本研究の実施過程およびその結果の公表（学会や論文等）の際には、患者さんを特定できる情報は一切含まれません。

5. 患者さんがこの研究に診療データを提供したくない場合の措置

IgG4 関連疾患と診断され、2016 年 10 月 1 日から 2017 年 5 月 31 日までに当科を受診された方の中で、この研究に診療データを提供されたくない方は、

下記までご連絡下さい。ただし、ご連絡頂いた時点で、既に研究結果が論文などに公表されている場合や、研究データの解析が終了している場合には、解析結果等からあなたに関するデータを取り除くことが出来ず、研究参加を取りやめることができなくなります。

6. 研究期間

(病院長承認日) から平成 32 年 3 月 31 日まで

7. 医学上の貢献

IgG4 関連疾患の重症度に応じた治療法の個別化につながります。

8. 問い合わせ先

〒060-8543 北海道札幌市中央区南 1 条西 16 丁目

札幌医科大学附属病院 免疫・リウマチ内科

本院研究責任者 山本 元久、同研究分担者 高橋 裕樹、鈴木 知佐子

【平日 Tel (011) 611-2111 内線 32110 (教室)

休日・時間外 Tel (011) 611-2111 内線 32170 (10 階南病棟)】